

## 何を使う

機器 PC、スマートフォン、タブレット、ヘッドセット

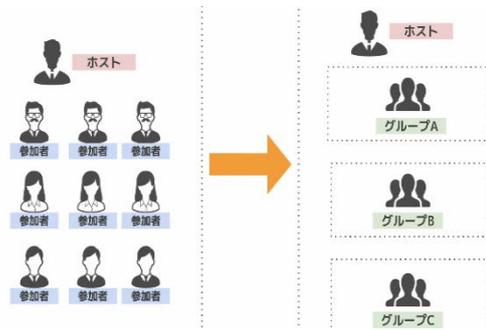
ソフトウェア (アプリ)

Zoom



## それをどう使う (それで何が出来る)

- Zoom のブレイクアウトルーム機能を活用し、グループ毎にディスカッションを行う。
- 自動的に生徒をグループに分けることができ、ホスト (教員) は各グループに自由に出入りできる。
- ホストがグループの人数やメンバーを自由に変えることができる。
- トピック (例: Should we eat bugs? など) をチャット機能を使い全員に提示し、設定した時間内で自分の意見を英語で相手に伝える。



## ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

## 【 Before 】

- 1つの教室で、複数のグループで同時にディスカッションを行う。



## 【 After 】 メリット

- オンラインや教室分散時において、ヘッドセットを用いることで他グループの音声が聞こえないため、自分たちのディスカッションに集中できる。
- グループ内から全体発表の流れがスムーズになる。指示も全体に通やすい。
- 感染症対策によるオンライン授業においても、生徒の言語活動を充実させることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○					
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続	○	1人1台端末	○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	英語		
		○	○		活用が想定される場面	グループディスカッション		